

広報 HEART

心とこころを繋ぐ病院だより

医師でありたい

価値観にも目を向けられる

患者さんの生活背景や

contents

- 02 災害医療のコト
- 05 あつみの郷の紹介
- 08 渥美病院を支える人たち
- 10 おすすめレシピ



／ 知って備える ／

災害医療のコト

内科の浅井医師に、災害医療についてお話を聞きました。

災害時に命をつなぐのは
「あなた自身」と「地域」

大規模な災害が発生したとき、警察や消防、医療チームといった「公助」だけでは限界があります。実は、1995年の阪神・淡路大震災では、がれきの下などに閉じ込められた人のうち、7割弱が家族を含む「自助」、3割が隣人等の「共助」によって救出され、「公助」の救助隊による救出は数%に過ぎませんでした。災害を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、家具の固定や備蓄といった事前の備えを行うこと、そして近所の人と助け合うことが、被害を減らすための第一歩です。



[内科]

浅井 秀康

はじめよう予防生活 /

医療の視点からの
防災対策

忘れてはならないのが「お薬手帳」です。東日本大震災では、津波で病院のカルテが流されてしまった状況下でも、お薬手帳を持っていた方はスムーズに普段と同じ薬を受け取ることができました。

また、避難先で初めて診てもらう医師にも、自分の持病やこれまでの治療歴を正確に伝えるための「命のパスポート」となります。防災リュックには、水や食料だけでなく、必ずお薬手帳（またはそのコピー）を入れておきましょう。

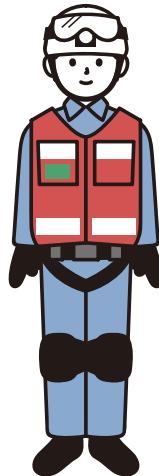


▲渥美病院DMAT

次のページでは浅井医師への
インタビュー記事を掲載しています

「DMAT」とは？

大地震などのニュースで、「DMAT（ディーマット）が派遣されました」という報道を耳にしたことはありませんか？ DMATとは、大規模災害の発生直後（概ね48時間以内の急性期）に駆けつける、専門的な訓練を受けた医療チームのことです。医師、看護師、そして連絡調整などを行う業務調整員で構成され、消防や警察と連携して活動します。限られた時間の中で「一人でも多くの命を救う」ことを使命としています。



知っておきたい！災害時の医療キーワード

災害現場や避難所でよく使われる言葉や、特有の症状を知っておくことで、いざという時の冷静な行動に繋がります。

●トリアージ

災害時に多数のケガ人が出た際、医療資源（人・物・時間）が圧倒的に不足する中で最大限の救命効果を上げるために、患者の緊急度や重症度に応じて治療の優先順位を決めることです。状態に応じて赤・黄・緑・黒のタグが付けられ、赤：最優先治療群、黄：待機的治療群、緑：軽症群、黒：死亡群または現時点では救命困難群に分類されます。



●クラッシュ症候群（挫滅症候群）

がれきや家具の下敷きになり、長時間（2時間以上など）腰や手足が挟まれた後に急に助け出されると、圧迫されていた筋肉から出た有害な物質が全身に巡り、不整脈や腎機能障害などを引き起こして命に関わる危険があります。長時間下敷きになっている場合には、救助隊や医療チームに速やかに連絡し、安全を確保しながら慎重に救助することが重要となります。

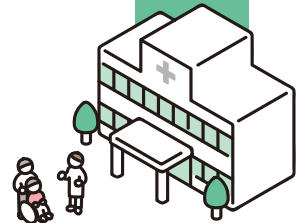
●エコノミークラス症候群

車中泊や避難所などで、狭い場所に長時間座って足を動かさないと、血行不良により足の血管に血の塊（血栓）ができ、それが肺に詰まってしまう恐れがあります。予防のために、こまめな水分補給や、足首の曲げ伸ばしを行いましょう。

Doctor's file

内科

浅井 秀康



患者さんの生活背景や
価値観にも目を向けられる
医師でありたい

ASAI HIDEYASU

令和2年 JA愛知厚生連渥美病院
令和4年 豊橋市民病院
令和5年 JA愛知厚生連渥美病院
専門は消化器内科

医師を目指したきっかけはなんですか？

もともと医療分野には関心がありましたが、以前は医療とは異なる仕事に就いていました。その後、親友を亡くしたことをきっかけに自身の進路を改めて見つめ直し、医師を志しました。幸いにも、社会人を対象とした医学部学士編入試験に合格し、現在に至っています。

消化器内科を選んだ理由は？

当初は、総合診療のように幅広い領域を診ることのできる分野に興味を持っていました。しかし、まずは専門性をしっかり身につけたうえで、総合的な診療ができる医師になりたいと考えるようになりました。研修医時代に内視鏡診療に触れる機会が多く、その経験もあって現在は消化器内科に進んでいます。将来的には、消化器領域に限らず内科全般を診られる、総合内科的な視点を持った医師を目指しています。今回、DMATの医師として登録したことも、こうした総合的な医療への関心の一環です。

日々の診療で心がけていることはなんですか？

病院という空間では、どうしても患者さんが緊張してしまい、本音を話しづらくなることがあります。そのため、診療では患者さんが少しでも安心して話せるような雰囲気づくりを心がけています。限られた診療時間の中でも、できるだけ患者さんの言葉に耳を傾け、不安や疑問を話しやすい関係性を築けるよう意識しています。

Private

今後の目標はなんですか？

医師としてのスタートが比較的遅かったこともあり、特定の分野だけを極めることよりは、これまでの様々な社会人経験を生かせる医師でありたいと考えています。社会人経験を経て医師になったからこそ、病気だけでなく患者さんの生活背景や価値観にも目を向けられる医師でありたいと思っています。医療以外の分野で培った経験も自分の強みだと感じしており、それらを医療に還元できるような日々模索しています。

プライベートでのご趣味は？

学生時代は器械体操に打ち込み、高校や大学も、体操を続けられる環境を基準に選んできました。その結果、大学時代には全日本インカレに出場することもできました。現在も体操との関わりを持ち、子どもたちに体操を教えています。以前アキレス腱を断裂して以降は、自身の競技から少し離れていましたが、最近は再び体を動かしたいという気持ちも強くなっています。将来的には、シニア大会などに出場できればと考えています。



pick up!

今できていることをいつまでも

あつみの郷通所リハビリテーション(デイケア)は「通い」のサービスです。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といったリハビリの専門職が利用者の状態に合わせ、個別にリハビリを行っています。それに加え入浴、昼食、専門職の指示のもと看護・介護職による訓練、個別レクリエーションを提供しています。これらのサービスを通じ、できる限り今の生活を維持できるように支援します。



デイケア紹介

●入浴



個別に入浴していただきます。ご自身でできるところはやってもらい、できないところはお手伝いします。個別での入浴が難しい方は機械を使用して入浴していただきます。

●カンファレンス



定期的にデイケア、リハビリ、ケアマネなどの担当者が集まり、利用者についての情報共有、今後の方針などを話し合います。

●リハビリ



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が個別に専門的なリハビリを行います。看護・介護職による生活リハビリも行っています。

●レクリエーション



カラオケや体操などの様々なレクリエーションを行います。

施設課 の紹介

施設課では医療機器の購入・施設の維持管理・非常時や災害時の対応を行っています。

渥美病院の取り組み



「施設課」には、事務2名・電気技師6名が所属しています。この8名にて機器の購入から施設の維持管理、災害対応など多岐にわたる業務を協力して行っています。また、日々院内を巡視しながら日常点検を行い、患者さんに安心して来院いただけるよう施設の維持管理に努めています。

医療機器の購入

各部署と協力し、計画的な機器更新を行っています。患者さんに負担の少ない機器や効率の良い機器の検討を行うなど、患者さんの視点に立った機器の更新を第一に考えながら取り組んでいます。



施設の維持管理

院内には空調設備をはじめとする多くの大型設備が稼働しており、24時間体制で管理しています。

また、定期的に数値を計測することで故障の予兆を察知し、病院運営に支障がないよう努めています。さらに、故障発生時の迅速な応急対応のため、日頃から外部業者と密に情報共有を図り、院内への影響を最小限に抑える体制を整えています。その他、建物の維持管理において必要な改修を長期的に考え、計画的に実行できるように取り組んでいます。



災害対応

院内設備の緊急対応や非常時・災害時の対応に備え、24時間体制で設備を監視しています。また、災害訓練以外にも非常時に迅速に行動できるよう定期的に非常用設備の取り扱いについて課内で講習を行い、患者さんの安全対策に努めています。



災害訓練

年に2回災害訓練を行っています。大規模地震を想定した訓練や職員の少ない夜間想定訓練のほか、病棟火災時の患者避難を想定した訓練、行政との連携訓練など多岐にわたる訓練を計画し、有事の際に患者さんの安全確保を第一に想定されるさまざまな状況においても職員が冷静に行動できるよう日々訓練を重ねています。この他、毎年4月には新人職員を対象とした初期消火訓練を行っています。火災発生時は初動が大切になるため、入職時から災害意識を持てるよう、取り組んでいます。



災害備蓄

災害時に備え職員・患者さんの3日分以上の防災備蓄品を備えています。また、上水が断水した際でも地下水（井水）をろ過して使用できる装置や、停電時においても通常時に院内で使用している電力の7割以上を確保できる発電機などを保有しており、災害時でも可能な限り医療を継続して提供するための設備等を導入しています。



渥美病院を支える人たち

Pick up!

ひらま れおん
平間 玲穂

令和2年 JA愛知厚生連渥美病院
施設課の電気技師として勤務



“ 「縁の下の力持ち」として 病院を支えたい ”

member.

14

電気技師

平間 玲穂

HIRAMA REON

電気技師を目指したきっかけは？

中学生の頃から電気系の仕事に興味を持っていました。当時は東京オリンピックの会場建設が進められており、電気技術者が不足しているというニュースを見たことがきっかけです。

その後、工業高校に進学し、第2種電気工事士の資格を取得しました。資格を活かして、地元である田原市の役に立つ仕事がしたいと思い、渥美病院への入職を決めました。

電気技師の魅力を教えてください

友人や、同じ病院で働く同僚からも「何をしている仕事なの？」と言われることがあるほど、普段はあまり目立たない職種です。しかし、電気や水道、設備などの管理は、医療を提供するうえで欠かせないものだと思っています。病院を支える「縁の下の力持ち」として、誇りを持って仕事をしています。

また、自宅で発生した家電のトラブルや水道の水漏れ等にも自分で対応できることも魅力です。

今までで大変だった仕事は何ですか？

院内の空調更新工事です。この工事は、看護師をはじめ、さまざまな職種の方々に協力していただかなければ進めることができない工事でした。

また、業者の都合だけでなく、病院側の運営状況や患者さんの受け入れ状況なども考慮しながら進める必要があり、その調整が特に大変でした。その分、今後大きな工事を行う際の良い経験になったと感じています。

当院の良いところを教えてください

田原市の花である「菜の花」をイメージした黄色が、外壁のタイルや病棟の扉など、院内のさまざまな場所に使用されています。明るい色が多く、来院された方にも元気な気持ちになるような工夫がされているところです。

また、当院は愛知県で初めて免震構造が採用された病院であり、地震などの災害に強いところも良いところの一つだと思います。

今後の目標について教えてください

災害医療に関する知識をさらに深め、災害訓練の充実や設備環境の維持管理に活かしていきたいと考えています。また、災

my favorite

FLORIAN

建物がおしゃれで、美容師さんの技術も高く、入職前から通っているお気に入りのお店です。



害拠点病院の指定を受けたことから、いざという時に第一線で活躍できる人材になれるよう、これからも努力していきたいです。
趣味や休日の過ごし方を教えてください
学生時代は部活動でバンドのボーカルをしていたこともあり、音楽全般が好きです。
休日は、好きなバンドやアイドルのライブに行ったり、カラオケに行ったりして過ごしています。



Recommended Recipe

1人あたりの栄養素
エネルギー…274kcal
たんぱく質…20.9g
脂質…14.5g
食塩相当量…1.1g

管理栄養士監修 おすすめレシピ

「アジとナスの香草パン粉焼き」

【材料】1人前

アジ …………… 1尾
（3枚おろし2枚 約80g）
塩・こしょう …… 少々
ナス …………… 1本（約100g）
ミニトマト …… 3個
青じそ …… 1枚

A
パン粉 …………… 大さじ3
おろしニンニク …… 小さじ1/4
粉チーズ …… 大さじ1/2
塩 …………… 少々
オリーブ油 …… 小さじ1

【作り方】

- 1 アジを食べやすい大きさに切る。塩を振って水気を拭き取った後、こしょうを振る。
- 2 ナスは幅1cm程の輪切りにする。フライパンに油（分量外）を熱し、両面に軽く焼き目を付ける。
- 3 ミニトマトはへたを取り、半分に切る。
- 4 青じそをみじん切りにして、Aの材料とよく混ぜ合わせる。
- 5 オーブンを200℃に予熱しておく。
- 6 耐熱皿にアジとナスを交互に重ねながら並べ、Aを均一にまぶす。ミニトマトを並べる。
- 7 オーブンで表面に焼き色が付くまで15～20分加熱して完成。

血中脂質（コレステロール・中性脂肪）を改善するために

野菜や海草類をしっかりととりましょう！

野菜や海草類、きのこなどに含まれる食物繊維にはコレステロールの吸収を緩やかにしてくれる働きがあります。

肉類は脂身の少ない部位を選びましょう！

悪玉コレステロール（LDL-コレステロール）が高い方は肉類の脂肪分のとり過ぎに注意しましょう。牛肉や豚肉はもも肉やヒレ肉など脂身の少ない部位を選び、鶏肉は皮を除いて食べるようにしましょう。

主食の食べ過ぎに注意しましょう！

主食であるごはんやパン、麺は炭水化物を多く含みます。食べ過ぎると、エネルギーとして使われなかった分が中性脂肪（TG）につくり変えられ、脂肪となって蓄えられます。

また、糖質の多いお菓子や甘い飲料もとり過ぎは中性脂肪を増やします。お菓子を控えるとともに、飲み物は水や無糖のお茶を選ぶようにしましょう。

小児科の診療体制について

(2026年8月1日現在)

4月より小児科医が2名体制となったことに伴い、より受診しやすい環境を整えるため、一部の運用を変更しました。

① 午後も予約なしでの一般診察(外来)を受け入れています

お子さんのお迎え後の受診に配慮し、午後も紹介なし・予約なしで小児科医の診察を行っています。

午後受付時間 14:30～16:30 ※混雑状況により、16:30より前に受付を締め切る場合があります。

② 月・水・金曜日は18:00まで救急対応を行っています

お子さんの急な発熱や体調変化にも柔軟に対応できるよう、週3日、夕方に小児科医による救急外来の対応を行っています。

対象曜日 月曜・水曜・金曜 受付時間 16:30～18:00

※受診を希望される方が多い場合、18:00より前に受付を締め切る場合があります。

③ 診療時間内の小児救急搬送(救急車)の受け入れを行っています

※診療状況や症状の緊急度によっては、他院へ搬送・紹介となる場合があります。

	月	火	水	木	金	土	日
午前 (受付時間8:00～11:30)	○	○	○	○	○	×	×
午後 (受付時間14:30～16:30)	○	○	○	×	○	×	×
診療時間外救急 (受付時間16:30～18:00)	○	×	○	×	○	×	×



MRI装置を更新しました

MRIは、強い磁石と電波を利用して、体の内部を詳しく撮像する検査です。放射線を使用しないため、被ばくがなく、脳や脊椎、関節、内臓など幅広い診断に用いられています。

今回更新した装置では、AI高速撮像技術を導入したことで、従来に比べ短時間で撮像を行うことが可能となりました。検査時間の短縮により、患者さんの負担軽減や、よりスムーズな検査につながります。

また、検査室の壁紙や床を明るい雰囲気に変更し、不安や緊張を感じる方にも、少しでもリラックスして検査を受けていただける環境づくりを行いました。



当院では、MRIを用いた「脳ドック」も実施しています。脳動脈瘤や脳腫瘍などの脳疾患は、自覚症状がないまま進行する場合があります。定期的な検査による早期発見・早期治療のため、ぜひ脳ドックをご活用ください。

詳細につきましては、健康管理センターへお気軽にお問い合わせください。



▲脳ドックの画像

お問合せ先 ☎0531-22-9698(健康管理センター直通)
(8:30～16:00)

「地域災害拠点病院」に認定

いつでも、どんな時も、地域を守る医療を

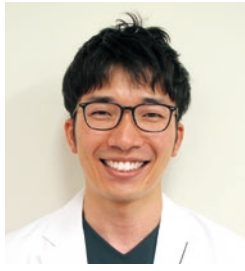
当院は、令和8年4月に「地域災害拠点病院」の指定を受けました。

災害拠点病院とは、大きな地震や災害が発生した際に、地域の医療の「要（かなめ）」として24時間体制で救急医療を提供する役割を持った病院です。停電や断水時でも医療を継続できる設備を備え、災害専門の医療チーム（DMAT）が迅速に動ける体制を整えています。田原市や関係機関と協力して実際の災害を想定した訓練を行い、連携体制を確認し構築していきます。また、災害時に必要な技術や知識を身につけるとともに、迅速かつ適切な医療を提供できるよう努めます。

この地域に暮らす方が、普段の生活はもちろん、万が一の災害時にも「渥美病院があるから安心だ」と頼っていたいただけるよう、これからも技術を磨き続けていきます。

新任医師紹介

あつみでがんばります



【整形外科】
小谷 涼太

地域の支えとなれるよう
一生懸命頑張ります

読者プレゼント企画



アンケートに答えると抽選で

図書カード2000円分が5名様に当たる

スマートフォンやはがきを使って、広報誌に対するご意見・ご感想をお聞かせください。皆さまのご応募をお待ちしています。

応募方法

スマートフォン・パソコンの場合

左記URL又はQRコードから回答してください。

<https://forms.gle/zx9tovFLnfHRatAda>

アンケートは全7問、所要時間3分ほどです。

はがきの場合

住所、氏名、年齢、電話番号、広報誌に対するご意見・ご感想を記入の上、左記の宛先へお送りください。

〒441-3415

田原市神戸町赤石1番地1 渥美病院企画課行

※回答期限は、2026年9月30日（必着）です。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



編集後記

浅井先生へのインタビューを通じて、限られた時間で最大限患者さんに寄り添う姿勢に感銘を受けました。患者さんが安心して話せる環境が先生への伝え忘れをなくし、適切な医療に繋がります。緊張してしまう方もHEARTが先生との会話のきっかけになれば幸いです。いつでもその矢印は患者さんに向いています。

休診日

土、日、祝日／8月15日／12月30日～1月3日